

2019年度 淡海フィランソロピーネットワーク事業計画

淡海フィランソロピーネットワーク設立の大きな契機となったのが、「ボランティア元年」とも呼ばれた平成7年の「阪神・淡路大震災」です。社会貢献活動について普及・啓発や調査・研究、情報交換・交流を行い、企業や団体が地域社会にとって魅力的かつ効果的な活動ができるよう、震災の翌年に設立されました。

本年度は重点活動として、災害時における支援活動の在り方を引き続き検討し、災害ボランティア資機材リストの整備と適正な運用を進めるとともに、食品ロスを防ぐ観点から、会員が災害時に備えている備蓄品が有効活用できる方策を検討します。

また、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包括性のある社会の実現を目指すSDGsを視点に持ちながら、会員に「子どもの笑顔はぐくみプロジェクト」（事務局：滋賀県社会福祉協議会）への参画を引き続き推進し、淡海フィランソロピーネットワークとして同プロジェクトを応援して参ります。

1 社会貢献活動・ボランティア活動に関する普及・啓発

- (1) 子どもたちの環境・福祉学習支援のためのチャリティ事業の実施
- (2) 滋賀県災害ボランティアセンターへの参画
- (3) 社会貢献活動情報誌「そろふいあ」の発行《滋賀県社会福祉協議会と共同》
- (4) ホームページ運営による情報発信<http://www.shigashakyo.jp/oumi_p_net/index.html>
- (5) 運営委員長表彰の実施
- (6) 感謝状の贈呈
- (7) 各種委員会への参画

2 社会貢献活動・ボランティア活動に関する調査・研究

- (1) 環境保全ならびに障害のある方の就労支援の推進
 - ① ペットボトルキャップリサイクル事業の推進
 - ② メンテナンス付リサイクルプランターリース販売事業の支援
- (2) 災害ボランティア資機材リストの整備
- (3) 災害備蓄品の有効活用の検討

3 社会貢献活動・ボランティア活動に関する情報交換・交流

- (1) 会員研修
- (2) 会員企業・団体の社会貢献活動の分野別データベースの充実
- (3) NPO等との交流会、他団体の研修への参加
- (4) 会員の「子どもの笑顔はぐくみプロジェクト」への参画推進
- (5) SDGsについての学習と情報交換

4 研究会および講演会等の開催

- (1) 企業・団体の社会貢献活動セミナーの開催
《滋賀県社会福祉協議会と共催》
- (2) 企業・団体の社会貢献活動トップセミナーの開催
《滋賀県社会福祉協議会・滋賀県と共催》

5 会務の運営

- (1) 総会の開催
- (2) 三役会議の開催
- (3) 運営委員会の開催